

1 適用範囲

この規格は、溶融亜鉛—アルミニウム—マグネシウム合金めっき鋼板（以下、板という。）及び溶融亜鉛—アルミニウム—マグネシウム合金めっき鋼帯（以下、コイルという。）並びに板をJIS G 3316に規定する形状及び寸法に加工した波板（以下、波板という。）について規定する。

2 種類の記号及び適用する表示厚さ

板及びコイルの種類は、熱間圧延鋼帯（以下、熱延原板という。）を用いた1種類、及び冷間圧延鋼帯（以下、冷延原板という。）を用いた1種類とし、種類の記号及び適用する表示厚さは、表1及び表2による。

表1 種類の記号及び適用する表示厚さ（熱延原板の場合） 単位：mm

種類の記号	表示の厚さ	適用
SGMHC	1.6以上 9.0以下	一般用

表2 種類の記号及び適用する表示厚さ（冷延原板の場合） 単位：mm

種類の記号	表示の厚さ	適用
SGMCC	0.20以上 3.2以下	一般用

3 めっきの付着量

めっきは、両面等厚めっきとし、めっきの付着量表示記号は、次による。

- a) 板、コイル及び波板のめっきの付着量は、両面の合計付着量によって表し、表3の3点平均最小付着量及び1点最小付着量の規定値以上とする。

表3 めっきの付着量

単位：g/m²

めっきの付着量表示記号	3点平均付着量	1点最小付着量
K27	275	234

4 寸法許容差

- a) 製品厚さの許容差は、表示厚さを小数点以下3桁で表した数値に、表6に規定する相当めっき厚さを加え、JIS Z 8401の規則Aによって小数点以下2桁に丸めた数値とする。
- b) 製品厚さの許容差は、表4、表5による。
- c) 製品厚さの許容差は、縁（幅方向端部）から25mm以上内側に適用する。
- d) コイルの場合、表面さず、折れなどの欠点部分には、厚さの許容差を適用しない。

5 質量

- (1) 板及び波板の質量は、特に指定のない場合、計算質量とし、キログラムで表す。
- (2) コイルの質量は、実測質量又は計算質量とし、キログラムで表す。
- (3) 板、コイル及び波板の質量の計算方法は、表8による。

表4 製品厚さの許容差（熱延原板を用いた場合）

単位：mm

表示厚さ	幅			
	1200未満	1200以上 1500未満	1500以上 1800未満	1800以上 2000未満
1.60以上 2.00未満	±0.17	±0.18	±0.19	±0.22
2.00以上 2.50未満	±0.18	±0.20	±0.22	±0.26

表6 相当めっき厚さ

単位：mm

区分	めっきの付着量表示記号	参考
	K27	めっきのアルミニウム質量分率
1	0.064	5.0%以上9.0%以下
2	0.068	9.0%超13.0%以下

表5 製品厚さの許容差（冷延原板を用いた場合）

単位：mm

表示厚さ	幅				
	630未満	630以上 1000未満	1000以上 1250未満	1250以上 1600未満	1600以上
0.20以上 0.25未満	±0.04	±0.04	±0.04	-	-
0.25以上 0.40未満	±0.05	±0.05	±0.05	±0.06	-
0.40以上 0.60未満	±0.06	±0.06	±0.06	±0.07	±0.08
0.60以上 0.80未満	±0.07	±0.07	±0.07	±0.07	±0.08
0.80以上 1.00未満	±0.07	±0.07	±0.08	±0.09	±0.10
1.00以上 1.25未満	±0.08	±0.08	±0.09	±0.10	±0.12
1.25以上 1.60未満	±0.09	±0.10	±0.11	±0.12	±0.14
1.60以上 2.00未満	±0.11	±0.12	±0.13	±0.14	±0.16
2.00以上 2.50未満	±0.13	±0.14	±0.15	±0.16	±0.18

表7 質量の計算に用いるめっき量定数

単位：kg/m²

めっきの付着量表示記号	K27
めっき量定数	0.381

表8 質量の計算方法

計算順序	計算方法	結果の桁数
原板の基本質量 kg/mm ² ・m ²	7.85（厚さ1mm・面積1m ² ）	—
原板の単位質量 kg/m ²	基本質量（kg/mm ² ）×表示厚さ（mm）	有効数字4桁に丸める
めっき後の単位質量 kg/m ²	原板の単位質量（kg/m ² ）＋めっき量定数	有効数字4桁に丸める
板・波板	板及び波板の面積 m ²	幅（mm）×長さ（mm）×10 ⁻⁶
	1枚の質量 kg	めっき後の単位質量（kg/m ² ）×面積（m ² ）
	1枚の質量 kg	1枚の質量（kg）×同一寸法の1枚束内の枚数
	総質量 kg	各結束質量（kg）の総和
コイル	コイルの単位質量 kg/m	めっき後の単位質量（kg/m ² ）×幅（mm）×10 ⁻³
	1コイルの質量 kg	コイルの単位質量（kg/m）×長さ（m）
	総質量 kg	各コイルの質量（kg）の総和

備考：1. 数値の丸め方は、JIS Z 8401の規則Aによる。
2. 波板の面積の計算に用いる幅は、波付け前の寸法による。
3. 結束質量が指定された場合の枚数は、指定質量を同一形状、同一寸法、同一めっき付着量ごとに板1枚の質量で除して求め、整数値に丸める。